

くらしについて考えよう①

— 教材文「色さいとくらし」(東京書籍 四上) —

4年国語 6月 18Q (6時間)
 附属新潟小学校 教諭 里村 穰

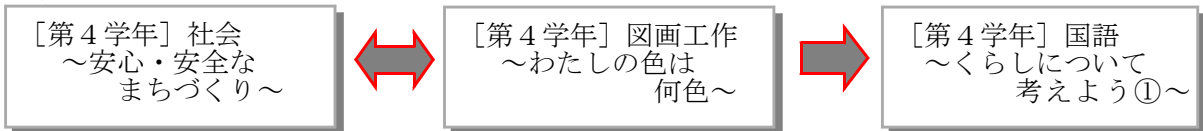
1 目指す姿

- 学習課題「附属オリジナル標識を何色にするか」に対する自分の考えをまとめるために、必要な情報を関連付けて読み、必要だと判断した情報を根拠として自分の考えをまとめる子ども
 具体的には、必要な情報を整理し結論付ける(国語・社会③見方や考え方)といった資質・能力を発揮して、「わたしは、赤色にしたい。赤は真っ先に人の目につく色だし、止まれという約束の色だから、全校のみんなに見てもらえるからだ」などと、自分の考えをまとめている姿

2 育む資質・能力

	①知識や技能	②ツール活用能力	③見方や考え方	④態度
国語	○必要な部分について文章の要点や細かい点に注意して読む ○目的に応じて必要な情報を引用や要約する	○ツールを用いて、必要だと判断した情報の関連性を考える	○事例として挙げられている事実等から、自分に必要な情報を整理し、結論付ける	○必要な情報を求めて自ら文章を読む ○引用部分をかぎ(「」)でくくる、出典を明示するなど、著作権を尊重しようとする
社会	○事故を防止するための標識等には、赤色や黄色等の色が使われている	○ツールを用いて、必要だと判断した情報の関連性を考える	○表やグラフ、写真などの資料から必要な情報を集めて関連付け、社会的事象に対する取組の意図を考える	
図画工作	○テーマに合わせて表したいものの形や色を表す		○テーマに合わせて、表したいもののイメージに合う形や色を考える	

3 資質・能力の関連



4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
一次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科見学を想起し、色彩に着目する。 ☆社会① ・標識は、色があったはずだね。 ○ 提示された標識を比較関係付けて、標識の色彩に対する問いをもつ。 ・同じ色が使われている標識があるけれど、どうしてだろうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○ 標識の色には、どんな意味があるのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文を音読し、文章内容の大体を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 社会科見学(学校周辺の事故防止の取組調査)で撮影した標識等の写真を、白黒写真・カラー写真の順に提示する。 ◆ 疑問に思うことを挙げさせ、これから考えていきたいことを問う。 ◆ 教材文「色さいとくらし」を提示し、音読させる。 ※新出漢字の読みや、難易語句の意味の確認を行う。 	3Q 1時間
二次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文を読み、分かったことを表出する。 ・赤色は真っ先に人の目につく色。 ・伝統的な町並みの色使いは、落ち着いた印象を与える。 ○ 短冊カードのつながりを考え、段落相互の関係をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教材文「色さいとくらし」を読んで分かったことを問う。 ※挙げられた分かったことを短冊カードに書いて掲示する。 ◆ 教材文「色さいとくらし」の説明の仕方の工夫を問う。 	6Q 2時間

- ・1段落でたくさんの方が使われていることを説明している。
- ・2～11段落で色の効果や色の調和について説明している。
- ・12, 13段落で色を上手に使うことでゆたかな暮らしになるとまとめている。

○ **標識の色には、それぞれに働きや効果があり、意味がある。**

- 言語活動を知り、附属オリジナル標識の色をどうするかという問いをもつ。
 - ・学校でのケガを防ぐための標識をつくってプレゼンするのだな。
 - ・どこに、どんな標識をつくらばいいのかな。
 - ・オリジナル標識の色は、どうしようかな。

○ **わたしたちがつくる附属オリジナル標識の色は、何色にすればよいらうか。** ☆図工③

学習課題（学習のめあて）

◎附属オリジナル標識を何色にするか

- 附属オリジナル標識の色を考えるために必要な情報と、その情報を得るための方法を考える。 ☆国語④
 - ・どの色にどんな働きや効果があるのかが分かれば考えられる。
 - ・「色さいとくらし」をもう一度読めば、色の働きや効果が分かる。
 - ・「色さいとくらし」だけでは、情報が足りないので、他の文章も読みたい。
- 視点を基に教材文「色さいとくらし」や色彩についての抜粋資料を読み、自分に必要な情報を書き出す。 ☆国語①

(例：赤色を採用しようとする場合)

 - ・赤色は、真っ先に人の目に付く色。
 - ・「生まれ」を表す約束の色。
 - ・災厄から身を護る色。
- 必要だと判断した情報を関連付け附属オリジナル標識の色と、その色にした理由を考える。 ☆国・社②③

(例：赤色を採用した場合)

 - ・赤色は、すぐに人目に付く色で、「生まれ」を表す約束の色なので、「廊下を走らない」ということを全校のみんなに伝えることができる。
- 必要だと判断した情報を根拠に学習課題に対する自分の考えをまとめ、発揮した資質・能力を自覚する。

○ **わたしは、赤色にしたい。赤は真っ先に人の目につく色だし、生まれという約束の色だから、全校のみんなに見てもらえるからだ。** ☆国語③
こう考えたのは、文章から情報を集めて、赤色の働きや効果をつなげたからだ。

- 班ごとに、伝えたい内容に合う附属オリジナル標識をつくり、依頼した第三者にプレゼンする。 ☆図工①

- ◆ **第三者からの依頼という形で言語活動（附属オリジナル標識をつくり、プレゼンする）を提示する。** 【働き掛け1】

言語活動
附属オリジナル標識をつくり、プレゼンする。

- ※標識を掲示する場所は、学校生活を想起させて、班ごとに決めさせる。
- ※標識の図案は、班ごとに伝えたい内容を考えさせ、決めさせる。
- ※色彩についての疑問をまとめ、学習課題（学習のめあて）とする

- ◆ **何が分かれば附属オリジナル標識の色を考えられるかと、そのための方法を問う。** 【働き掛け2】

- ※挙げられた内容を板書して視覚化する。
- ※方法として、教材文以外の文章が必要だといった意見が出た場合、色彩についての抜粋資料を配付する。

- ◆ **必要だと判断した情報を付箋紙に書き出させる。** 【働き掛け3】

- ※付箋紙を配付し、付箋紙一枚につき一つの事柄を書くようにさせる。

- ◆ **話し合う目的（依頼した第三者へ向けて説明するため）を意識付けて班ごとに検討させ、結論を問う。** 【働き掛け4】

- ※必要だと判断した情報を書き出した付箋紙を「コア・マトリクス」のマトリクス部分に貼りながら話し合わせる。
- ※班で話し合った結論を、コア部分に書かせる。

- ◆ 学習課題に対する自分の考えと、そのように考えた理由を問う。

【自覚させるための働き掛け】

- ◆ 附属オリジナル標識をつくらせ、依頼した第三者に向けてプレゼンする。